

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	隅角組織の形態学的検討による緑内障の原因究明
研究責任者	濱中輝彦
研究機関名	日本赤十字社医療センター 眼科
研究目的と意義	緑内障における原因は眼圧が上昇して視神経障害が生じ、その結果視野が欠けて最終的に失明する病気です。眼圧上昇の原因は眼内の線維柱帯とシュレム管に機能障害が生じて眼圧が高くなると考えられます。現在有効な進行予防手段は眼圧を下げることです。それにはまず点眼地治療を行います。眼圧コントロールが不十分な場合は手術が必要になります。中でも線維柱帯切除術はもっとも有効な手段方法として知られています。 そこで今回は緑内障患者さんの線維柱帯切除術で得られた標本の線維柱帯・シュレム管を含む隅角組織を病理学的に検索して、緑内障の原因が発育異常に基づくのか、それとも老化であるのかを明らかにすることにより予防ならびに治療に役立てたいと考えました。
研究方法	1997年3月～2020.年2月目まで当センターで緑内障手術を施行された患者さんを対象に隅角組織を病理組織学的、免疫組織学的に研究を行います。上記に該当する患者さんで研究に参加を希望されない方はご連絡下さい。参加を希望されなくても不利益はありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 眼科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者: 濱中輝彦 TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604